

琉球泡盛業界の出荷拡大戦略の主な内容

(1) 「古酒の郷」施設整備促進

①趣旨

競争力を持ちうる戦略商品の「古酒」絶対量の増大を図り、販売戦略の構築・販促活動及び泡盛文化の研究発信等を行う基盤として「古酒の郷」を沖縄県うるま市に整備する。

②施設の状況

- 3月27日 「琉球泡盛 古酒の郷」竣工落成式
・ 貯蔵棟1棟（50KL タンク 10本）及び管理棟1棟が完成
→原酒 500kl を集荷貯蔵して 10年間熟成後、10年古酒として販売予定。
- 2014年度までに貯蔵棟1棟（500kl）増設予定。

「古酒の郷」完成予定図



(2) 琉球大学農学部サテライト研究室（「古酒の郷」内）の設置

①趣旨

琉球泡盛の商品特性については、伝統的・慣例的手法による要素が多いため、学問的臨床的裏付けを得て、消費者の理解、信頼の確保を図る。

②具体的研究内容

- 泡盛の成分変化を追跡し熟成の仕組みを解析
- 古酒に適した原酒の種類などの調査

③研究体制：泡盛に関連する教員5名、大学院生、学生